神の鳥 ライチョウ

絶滅させないために、わたしたちができること

絶滅のおそれが高い

近年、捕食者の増加や温暖化の影響等により数が減り、絶滅危惧種に指定。現在、環境省を中心に保護増殖事業を行なっています。
ライチョウの保護には、登山者のマナー向上やライチョウサポーターズの皆様の協力、関連基金への募金といった、国民や企業を挙げての協力が必要なのです。

氷河期からの生き残り

ライチョウは氷河期に大陸から日本に移り、その後、高山帯に取り残された鳥です。
歴史的にも、古来より『神の鳥』として信仰されてきたため、狩猟の対象となってきた外国のライチョウとは異なり、人をおそれない特徴を持っています。

ライチョウの公開はじまる

今年3月15日より、保護増殖事業の一環として、全国5施設でライチョウの公開展示を始めます。
(公社) 日本動物園水族館協会では、展示を通じてライチョウの保護についての理解を深めるとともに、積極的な情報発信をしていきます。

生息域外保全の取り組み

ライチョウの保護増殖事業では、ライチョウの生息地での保護活動とともに、(公社) 日本動物園水族館協会加盟施設にて、野生復帰も見据えての、飼育と繁殖の取り組みを実施しています。

ライチョウ展示施設

恩賜上野動物園 (東京) ・ **富山市ファミリーパーク** (富山) ・ **市立大町山岳博物館** (長野)
那須どうぶつ王国 (栃木) ・ **いしかわ動物園** (石川)

※動物の状況や体調などにより、公開時間の短縮や展示を休止する場合もありますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

以下の施設でもスバールバルライチョウを飼育して、ライチョウ飼育の準備と基礎研究を行なっています。

秋田市大森山動物園 (秋田) ・ **多摩動物公園** (東京) ・ **横浜市繁殖センター** (神奈川)
横浜市立金沢動物園 (神奈川) ・ **長野市茶臼山動物園** (長野) ・ **飯田市立動物園** (長野)

見守るだけでは、守れない

私たちが生活する里と里山の自然のバランスが乱れたことが、奥山にすむライチョウの生活を脅かしています。
自然との調和を保ってきた先人の知恵を見直し、時代に合った自然との付き合い方を模索しなければなりません。

白山では 2009 年に、約70年ぶりにメス1 羽が確認され、2016 年まで定着していました。

火打山 25 羽→28 羽
その後の減少が懸念されている

北アルプス
50羽
1960 羽（1980年代）→1104 羽（2000年代）

乗鞍岳
120 羽→145 羽

御嶽山
125 羽→70 羽

八ヶ岳
絶滅

中央アルプス
絶滅

南アルプス
720 羽→306 羽
最も減少が著しい

危機その① 温暖化

高山帯という、いわば『島』に取り残されたライチョウは、温暖化により生息地を失います。

危機その② 捕食者

キツネやテンなどの里山の動物が高山帯に侵入、ライチョウを捕食しています。

危機その③ 植生破壊

里山で増えたシカやイノシシが高山帯に侵入、高山植物を食べ尽くすおそれがあります。

植生が回復？！

火打山では、近年、イネ科植物の繁茂や低木林の拡大等により、良好なライチョウの生息環境が縮小しています。
現在、イネ科植物等の除去試験を行っており、その成果が徐々に出始めています。

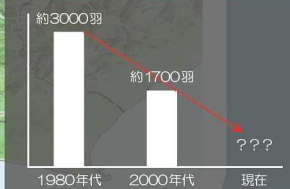
個体数が回復？！

南アルプス北岳でのケージ保護事業と捕食者対策事業によって、個体数が回復傾向を見せています。

ライチョウ復活？！

中央アルプスで50年ぶりにメス1羽が確認されました。
これをふまえて、今後さまざまな取り組みを検討していきます。

数が激減！！



● 足環（あしわ）確認情報を教えてください ● 足環で個体識別をして移動状況や寿命などを調べ、保全事業に活用しています ライチョウサポーター 検索

環境省と（公社）日本動物園水族館協会は生物多様性保全の推進に関する協定を結び絶滅危惧種の保全活動を行っています。
環境省信越自然環境事務所 TEL：026-231-6573 / 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 TEL：03-5521-8353

環境省 Ministry of the Environment

公益社団法人
日本動物園水族館協会
JAPANESE ASSOCIATION OF ZOOS AND AQUARIUMS

2019年 3月